

# 貧酸素水塊速報 (2014年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター  
 神奈川県水産技術センター  
 千葉県農林水産技術会議  
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター  
 第三管区海上保安本部  
 東京都環境局  
 (独)国立環境研究所

○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)  
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 平成26年11月25日観測結果

小規模な貧酸素水塊が千葉港沖～船橋沖に分布しています。そのほかの海域では確認されませんでした(図1)。縦断ラインでの鉛直分布では、船橋沖を除き、溶存酸素量が2.5mL/Lを下回る水塊は見られません(図2, 3)。

水温は表層は15～17℃、底層は16～18℃です。

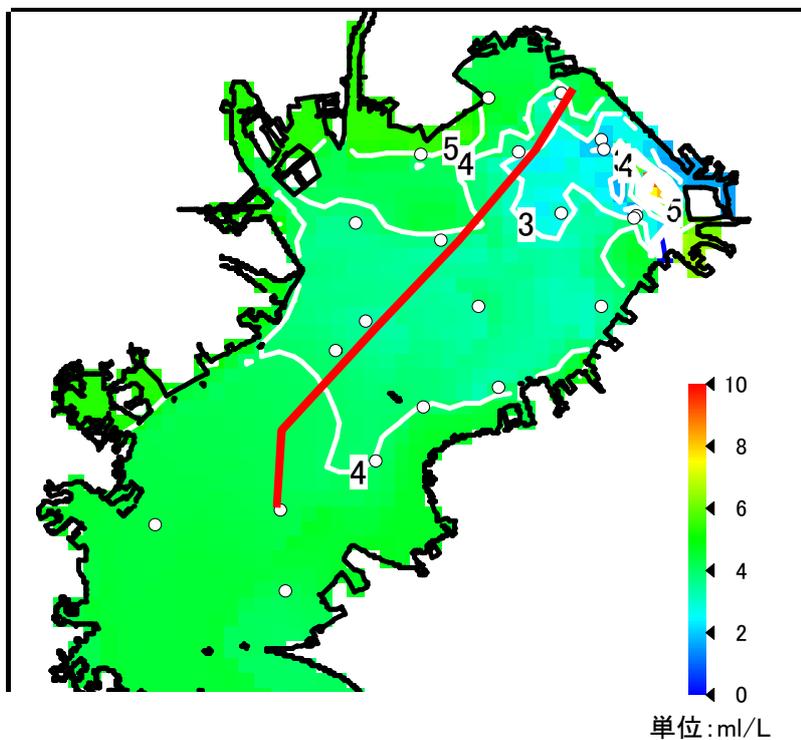


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

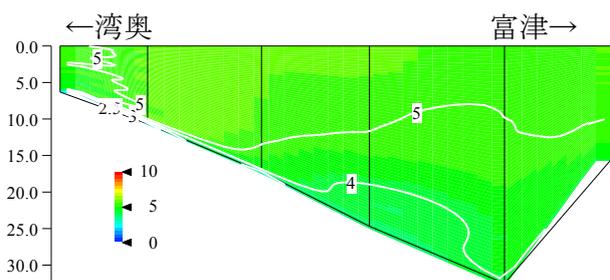


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

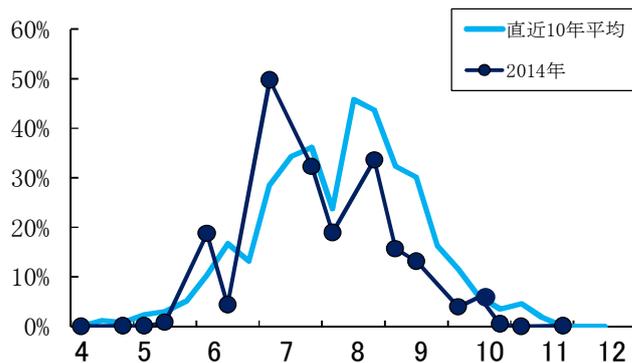


図3 貧酸素水塊の規模  
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)